

『小動物が棲む森林づくりー森林性猛禽類の生息環境の持続をめざす間伐運動会』
2010年11月23日 隠れ家づくりと小動物調査

10月23日に続き、小動物の隠れ家利用調査と隠れ家づくりを行いました。
前回作った隠れ家にノウサギなどの糞があるかを調べました。



今回は岩手県立大学総合政策学部の金子与止男教授と島田直明講師が率いる学生さんが授業として、参加しました。
また岩手大学 環境人材育成プロジェクト担当中嶋清隆氏が参加しました。



隠れ家内部を調査しています。



個数と色、糞密度・足跡、食べ跡などを調査します。



調査は12月5日にも行う予定です。

ノウサギの糞は見つかりませんでした、カモシカの糞がありました。



小動物の隠れ家づくり



刈屋建設(株)方式で急斜面に隠れ家を建築中。



岩手県立大学方式で女子チームが建築中。下は男子。



積雪による影響を考え、急斜面に隠れ家を設置する場合は先に木杭をしっかり打ってから丸太を積み上げます。屋根は太めの枝を選んで載せました。



本日の参加者



林野庁が監修する人間と自然との関わりを考える教育用DVD『日本の森シリーズ』（企画：国土緑化推進機構）の取材を受けました。全国の学校関係に猛禽類を保護する取り組みとして来年配布されます。

森林環境と豊かな生態系を形成する多様な動植物の生息環境を考える、本日のこの活動について説明をしていると思われます。

